



## 心のきずなを深める月間

昨年度より熊本市は「心のきずなを深める月間」と名称を変更して、学校・家庭・地域が互いの役割と責任を強く自覚して日頃からのいじめ未然防止を全市的に推進することになっています。

本校でも、各クラスで「よいところ探し」等の子どもたちの絆を深める取り組みやいじめについて考える時間や不安や悩みを抱えた時のSOSの出し方等を学習します。また、6月23日～27日の1週間は、教育相談週間として、放課後を使って子どもたちと教員がじっくりと話をする時間を設けています。

本日の学校朝会では、この「心のきずなを深める月間」ということで、子どもたちに以下のような話をしました。

「トゲ」を触ったことがありますか。バラのトゲ、とがった木の枝、刺さると「痛い！」となりますね。でも、人の言葉や行動にも「見えないトゲ」があるのです。

例えば、「バカだなあ」とからかう。ヒソヒソ話をして、笑う。わざと無視する。そんなことをされたら、どんな気持ちになりますか。心が「痛い」となる人がいるかもしれません。見えないけど、心にちくちくと刺さる「トゲ」なのです。

言った人は、気づいていないことがあります。「ちょっとからかっただけ」「みんながやっているから」と。でも、された人は、ずっと辛くて、苦しい気持ちになることがあります。

自分の言葉や行動が、誰かを「ちくち」とさせていないか、「トゲ」になっていないかを少しだけ振り返ってみてください。そして、「見えないトゲ」ではなく、「やさしさの花」が咲く、「だいじょうぶ?」「ありがとう」「一緒にやろう」「いいね」のような言葉を増やして行ってほしいと思います。自分も周りも笑顔になる学校をみんなで創っていきましょう。

## 4, 5, 6年生に音楽専科の先生が入ります～ようこそ若葉小へ～

5月中旬から、4, 5, 6年生の音楽専科の非常勤講師として松岡先生が若葉小学校に赴任してこられました。専門的な音楽の指導をしてくださるので、みんな音楽を楽しみにしているようです。また、時々色々な学級の支援にも入ってくださっています。

### 学校支援活動として・・・

5月から、毎週木曜日の午前中に子どもたちの見守りや、授業の補助等をしてくれる学生ボランティアが来てくれています。子どもたちは、すぐに打ち解けボランティアの学生さんとすぐに仲良くなっていました。

また、6月からは「大学生学校教育活動アシスタント」として、3人が週に1回ずつ1日に4時間の支援をしてくれることになりました。主に月曜日と火曜日にそれぞれ入ってもらいます。子どもたちの学習の補助や見守り、課題準備等をしてくれます。教師を志す学生さんの支援は学校全体も活気づき、ありがたいものです。子どもたちの成長にもつながるものと思っています。

そして、水泳学習時のプラス1(子どもたちの見守り)として、昨年度から体育の器械運動学習の支援をしてくださっている村上さんに入ってくださいました。子どもたちの水泳学習が安全に進められるように、見守りをさせていただく予定です。子どもたちのために、ボランティアで入っていただけることに、感謝しています。